

市政を問う

一般質問?



6月定例会における市政に関する一般質問は、6月13日から16日に行われ、16人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。
(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は半田図書館・亀崎図書館等に配置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。
※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

問

公民館のICT化（WiFi環境整備や利用者用のパソコン）を国の政策であるデジタル田園都市国家構想交付金を用いて整備していくべきだと思えますが、どう考えますか。

今後はホームページやチラシだけでなく、動画を活用した広報を取り入れるつ、目的や対象者に合わせた学びのプログラムを検討していきます。

問

市民大学（リカレント教育）を社会人の学び直しと捉え、ビジネススキルの向上や社会起業家の育成、また女性の社会進出を後押しする講座を設けるなど対象者や目的を絞り展開するべきだと思えますが、どう考えますか。

公民館等社会教育施設の
利活用

芳金秀展
(創造みらい半田)



市政を問う

一般質問（質問議員が執筆しています）

現在、市内公民館は14館中8館にWiFi設置が進んでおりますが、うち市民が利用できる館は6館です。今後、国の交付金も検討しながら公民館のICT化を進めることを検討します。

問

自治体でDXはICTに不慣れな世代に寄り添い手を取り一緒に前に進んでいく必要があります。今後はサポートできる人材を育成していく必要があると思いますが、どう考えますか。

本年度もデジタルサポートに6件の応募がありました。今後もデジタル人材の育成に努めていきます。



有留麻由
(無所属)



子ども医療費を無償化に

高校生までの医療費を無償化にすると市の負担はどのくらいですか。

16歳から18歳までの医療費を単純計算すると約4千7百万円です。中学生から高校生まで無償化にすると約1億2千万円の負担になります。

問

子ども医療費の通院1割負担を残す理由は何ですか。

無料のサービスではないと言ふ事を認識していただくことも大切だと考えます。必要以上に医療費が増えることを懸念するためです。



問

心身の成長に大きな役割の給食を無償にする必要があります。半田市の見解を伺います。

在宅で子育てをしている家庭を考えると、保護者に負担いただくべきものだと認識しています。

学校給食費を無償化に

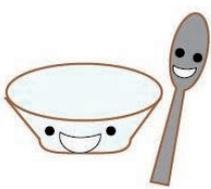
少子化対策としての給食費無償化をどうとらえていますか。

一定の効果はもたらすと考えていますが、自治体の財政力に依存するのではなく、国の動向を注視し、対応していきます。

問

給食は食育であり、無償である義務教育の環境という認識はありますか。

食育という認識はありますが、今のところ、無償にする考えはありません。



保育園・幼稚園の給食費を無償化に